

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	えぐさ ゆうこ
主な担当科目	ことばと創作
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	私は「ことばと創作」に関わる教育を専門とし、朗読やナレーション技術を通じて、言葉の力と表現の可能性を学生に伝えています。講義では発声や感情表現の実践を重視し、創作活動を通じて自己表現力を育成します。学生の多様な背景を尊重しながら、一人ひとりの個性を引き出す指導を心がけています。
2024年の教育に関する自己評価	クラス担任として、新しいコースの設計を通じて朗読やナレーションの技術だけでなく、ポッドキャストなど学生が主体的に自己表現を探究できる環境を提供することを目指しました。実践的な内容や創作活動を取り入れた結果、学生の積極性や表現力の向上が見られ、授業評価でも高い満足度を得ることができました。一方で、個々の進捗に応じたフォローアップの重要性も認識しており、今後はさらにきめ細やかなサポート体制を整えたいと考えています。
2024年のFD活動に関する自己評価	FD活動では、教育の質向上を目指し、研修会の企画・運営に尽力しました。多様なテーマで教員間の意見交換を促進し、それぞれの授業実践や課題について議論を深める場を提供しました。また、参加者の意見を丁寧に取りまとめ、次年度のコース設計や教育改善計画に反映させています。これにより、教員間の連携が強化されるとともに、学生にとってより効果的な学習環境づくりに寄与できたと考えています。今後も継続的な改善に努めていきます。
授業改善のために取り入れた研修内容	FD研修では、多文化理解や個別指導の手法について学び、それを留学生対応や学生指導に活用しました。留学生には日本語学習を支援する一方、文化的背景を尊重した指導を心がけ、安心して学べる環境を提供しました。また、研修で得た個別支援の知見を活かし、学生一人ひとりのニーズに応じた丁寧な指導を実践しました。これにより、学生の学びの質向上だけでなく、国際性豊かな学習環境の実現にも貢献できたと考えています。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3685 教員名:えぐさゆうこ

1)アンケート結果に対する所見

学生の、授業への興味や関心や、わかりやすくするための工夫などは高い数値となっており、学生が主体的に授業に参加し、内容に関する理解も得られていると感じている。また、ラジオ体験など他にない実践的な授業内容も好感触であった。

2)要望への対応・改善方策

セルフプロデュースという観点を学んだ上で、イベント企画やプロフィール作成などに生かす体験をより増やしていく予定である。

3)今後の課題

個別に要望が寄せられてはいないが、「自分はこの授業内容に関して実践できた」の数値が前述の「興味・関心」や「授業への工夫」よりも少し低い数値となっているため、今後はより学生一人ひとりがちゃんと実践できているかの確認や促しを増やしていきたいと思う。

以 上